

- ★ プラスチックであふれる海 ..... 1・2
- ★ トピックス「荒崎海岸クリーンフェスタ2024初夏」開催 ... 2
- ★ 令和6年度上半期の主な事業 ..... 3
- ★ 富浦公園前海岸清掃を実施 ..... 3
- ★ 令和6年度の役員及び評議員・令和5年度決算の概要 4
- ★ 高校生アマモサミット2024が本市にて開催 ..... 4

一般財団法人 横須賀西部水産振興事業団  
〒240-0101 横須賀市長坂2-2-2 ☎080-8810-5132  
URL <https://www.yokosuka-seibusuisan.org>

「西部水産振興だより」のバックナンバーや「小田和湾の藻場環境」のパンフレットがダウンロードできます。ぜひご覧ください！



## プラスチックであふれる海

現在、世界的に大きな問題になっている「海洋プラスチック汚染」について、(公財)かながわ海岸美化財団 柱本 健司氏にお聞きしました。



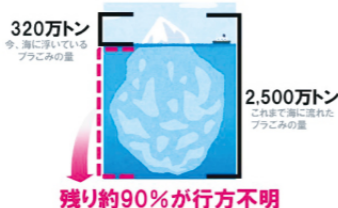
プラスチックごみであふれる埋立地



海面に浮くプラごみ。貝や海藻、汚れなどが付着し、海底へと沈んでいく。



フタが開まっていないペットボトルは、沈んでしまう。



ミッシングプラスチック解説

フタが開まっていないペットボトルは、沈んでしまう。

### 加速度的に増加するプラスチックごみ

いきなりですが、数を数えてみましょう。「1, 2, 3, 4」今、この4秒間で世界の海に、1トンのプラスチックごみが流れこみました。年間に換算すると、その量は約800万トン。このままのペースで進行すると、2050年には海洋中のプラスチックごみの重さが魚の重さを超えると言われています。

現在、プラスチックは私たちの生活に欠かせないものですが、その歴史は浅く、始まりはつい一昔前の1950年頃です。当時の世界の年間のプラスチックごみ量は180万トンに過ぎませんでしたが、2015年は3億トンを超え、2060年には4億6,000万トンに達する見込みで、生産量と廃棄量が加速度的に増加しています。

こうしてこれまで莫大な量のプラスチックごみが排出されてきたのにも関わらず、リサイクルされたものはそのうちの約10%に過ぎません。残りの14%が焼却で、76%は埋め立てられたか自然環境へ漏出したとされており、この一部が海洋へ流出しています。

### 消えたプラスチックごみ

これまで海洋に流出したプラスチックごみの総量は、最低でも2,500万トン、最大で1億5,000万トンに及び、今では北極海でも南極海でも、深海でもプラスチックごみは見つかります。世界のどこにいても、プラスチックのない海は存在しないといってもよいかもしれません。

しかし、これだけ莫大なプラスチックごみが流出しているのにも関わらず、海の表面に浮かぶプラスチックの量は、多くて300万トンほどで、これはこれまでの流出総量の10%に過ぎません。残りの90%が実は行方不明なのです。この行方不明のプラスチックのことを「ミッシングプラスチック」と言います。

「ミッシングプラスチック」の多くは、深海底に沈んでいると考えられていますが、現在は、まだ一度に大量のプラスチックごみが深海底から発見されていません。(次頁へ続く)

### 星の数を超えるマイクロプラスチック

プラスチックごみのうち、特に注目されているのが、大きさが5ミリ以下のマイクロプラスチックです。今、世界の海洋には170兆個のマイクロプラスチックが存在していると言われ、その数は、銀河系の星の数(約2,000億個)を遥かに超えます。マイクロプラスチックは、海洋中の化学物質も表面に吸着しながら拡散し、その小ささ故、あらゆる海洋生物に摂取されてしまいます。現在、この摂取された化学物質が食物連鎖によって生物濃縮が進み、人間にも悪影響を及ぼすと懸念されています。



海岸で採取したマイクロプラスチック

また、マイクロプラスチックではありませんが、2018年8月に鎌倉市由比ヶ浜に漂着したシロナガスクジラの赤ちゃんのお腹の中からフィルム状のプラスチックが発見され、プラスチック汚染がここまで広がっていることに衝撃が走りました。



由比ヶ浜に漂着したシロナガスクジラ

### 被害者であり加害者でもある

世界から日本に目を移すと、日本周辺の海域のマイクロプラスチックの量は多く、世界平均の約27倍にもなります。これは、東アジア、東南アジア諸国から流出したプラスチックごみが黒潮に乗って運ばれてくるためです。これだけを見ると、日本はプラスチックごみの被害者のように思えますが、そうではありません。日本からも大量のごみが海洋へ流出しており、日本から2,000キロ離れた太平洋の孤島であるミッドウェイ諸島では、大量の日本製のごみが発見されています。海のごみ問題は、誰もが被害者である一方、加害者でもあります。

### トピックス 『荒崎海岸クリーンフェスタ 2024初夏』開催

6月9日(日)

「荒崎海岸クリーンフェスタ」が開催されました。荒崎公園駐車場手前の「なんやの浜」の海岸清掃とカサゴ4,800尾を放流しました。当日の参加者は約150人で、ゴミ袋を片手に砂浜と岩場のゴミを集めてもらいました。イベントも開催され、楽しい一日を過ごしました。

次回は、  
令和6年10月上旬の日曜日9時～ 荒崎海岸なんやの浜  
参加無料、当日現地集合、小雨決行・荒天中止  
詳しくは、<http://www.wafa.jp> TEL 045-663-5688



相模湾に漂着した中国製のカキ養殖用浮き 相模湾に漂着した沖縄県浦添市のごみ袋

### 未来からイイねを貰おう

2024年4月、当財団の本部事務所前の海岸で昭和57年(1982年)と印字されたお菓子の袋を発見しました。プラスチックは自然で分解されずに海洋中に蓄積していく現実を目の当たりにした瞬間でした。

当財団の調査では、海岸に漂着した人工ごみのうち、約60%はプラスチックごみで、そのプラスチックごみのうち、約半数はペットボトルです。ペットボトルは約400年もつとされています。海岸のペットボトルを拾うことや、マイボトルなどでペットボトルがごみにならないようにすることは、400年先の海岸をキレイにするということです。

未来のイイねのために、あなたができることは何ですか？



発見したお菓子の袋 57.12.24と印字されている

### ～みんなの海を考える講演会～ 開催のお知らせ

- ・テーマ 海洋プラスチック汚染の現状  
～プラスチックであふれる海～
- ・日時 10月24日(木) 午後2時から
- ・会場 西コミュニティセンター(西行政センター) 3階 集会室
- ・講師 (公財)かながわ海岸美化財団 柱本健司氏
- ・入場自由、当日受付
- ・主催 大楠連合町内会  
クリーンよこすか大楠地区市民の会





### 令和6年度 上半期の主な事業

当事業団は地域活動の支援、水産振興を事業の柱として、種苗放流や研修会開催などの事業を行っています。本年度前半の主な事業活動を紹介します。

## 稚魚(ヒラメ・マダイ・トラフグ)と稚貝(サザエ・トコブシ)の種苗放流を実施しました。

6月12日(水) 井尻漁港岸壁と小田和沖に放流しました

### ヒラメ

(平均全長73mm)当事業団11,000尾と(公財)神奈川県栽培漁業協会分、両漁協購入分を合わせて、合計32,800尾



7月16日(火) 長井漁港の沖合に放流しました

### サザエ

(平均殻高20mm)当事業団7,800個と漁協購入分を合わせて 25,800個



### トコブシ

(平均殻長20mm)当事業団5,000個と漁協購入分を合わせて10,000個



7月19日(金) 佐島漁港岸壁から放流しました

### マダイ

(平均全長66mm)当事業団8,000尾と(公財)神奈川県栽培漁業協会分を合わせて、合計19,000尾



8月5日(月) 小田和湾沖に放流しました

### トラフグ

(平均全長70mm) 10,000尾



### 富浦公園前 海岸清掃を実施



8月1日(木) 長井中学校の生徒50名と先生13名、市職員他16名で富浦公園前海浜の海岸清掃を実施しました。海中のゴミまで回収し、きれいな砂浜に蘇りました。



## 令和6年度の役員及び評議員

令和6年4月1日「一般財団法人横須賀西部水産振興事業団」は、11年目をスタートしました。2名の役員に変更があり、理事の武田哲治氏、評議員の鈴木秀雄氏が退任されました。

### 役員(理事10名、監事2名)名簿

令和6年6月11日(敬称略)

No.	役職名	氏名
1	理事長	小澤 紳一郎
2	副理事長	福本 憲治
3	専務理事	谷 英明
4	理事	今井 利為
5	理事	梶ヶ谷 泰宏
6	理事	<u>杉山 裕二</u>
7	理事	長澤 毅
8	理事	新倉 繁
9	理事	山田 利一
10	理事	平野 敏幸
1	監事	松尾 智子
2	監事	石渡 敏幸

※下線は新任

### 評議員(10名)名簿

令和6年5月27日(敬称略)

No.	役職名	氏名
1	評議員	石渡 修
2	評議員	小杉 邦洋
3	評議員	清水 詢道
4	評議員	砂村 芳行
5	評議員	<u>土地 敬洋</u>
6	評議員	田中 達夫
7	評議員	鈴木 直樹
8	評議員	河西 勉
9	評議員	原田 洋治
10	評議員	樋爪 由幸

※下線は新任

## 令和5年度 決算の概要

令和6年5月27日に開催された令和6年度定時評議員会において、令和5年度の事業報告及び決算について承認されました。令和5年度の経常収入(利息)は6,612,655円、支出は事業費及び管理費を合計して21,976,343円であり、当期経常増減額は15,363,688円の減となり、その減を基本財産の取崩及び繰越金支出により収支のバランスを取りました。この結果、正味財産期末残高は4年度末の残高より15,448,118円減少し、417,480,154円となりました。決算の概要は次のとおりです。

### 決算の概要 (令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

#### I 一般正味財産増減の部

##### 1. 経常増減の部

(1)経常収益	
① 基本財産運用益	6,444,795円
② 雑収益	167,860円
経常収益計	6,612,655円
(2)経常費用	
① 環境保全事業	2,885,215円
海岸・漁港清掃助成金など	
② 調査研究及び保護培養事業	7,728,660円
水産物の調査・研究事業助成金	
種苗購入費など	
③ 研修事業	952,479円
海洋調査における水中ロボット等新技術の紹介	
④ 広報事業	873,600円
西部水産振興だよりNo.51、No.52製作費	
⑤ 経営安定事業	8,000,000円
漁業協同組合に対する経営資金等の助成金	
事業費計	20,439,954円

⑥ 管理費	1,536,389円
役員の会議出席報酬	
関係団体年会費等負担金など	
※人件費は各事業に配分し支出している。	
経常費用計	21,976,343円
当期経常増減額	△15,363,688円

##### 2. 経常外増減の部

(1)経常外収益	13,939,850円
(2)経常外費用	111,350円
当期経常外増減額	13,828,500円
当期一般正味財産増減額	△1,535,188円
一般正味財産期首残高	27,012,482円
一般正味財産期末残高	25,477,294円

#### II 指定正味財産増減の部

当期指定正味財産増減額	△13,912,930円
指定正味財産期首残高	405,915,790円
指定正味財産期末残高	392,002,860円

#### III 正味財産期末残高

正味財産期末残高	417,480,154円
----------	--------------

**高校生アマモサミット2024 が本市にて開催**

- 日時 2024年10月12日(土)～14日(月・祝) 11:00～17:00
- 会場 神奈川歯科大学(横須賀市稲岡町82)

海洋科学高校はアマモの活動報告と藻場の観察会を行います。